

歴史・文化を活用したまちづくり調査特別委員会会議録（要点筆記）

令和6年10月1日（火）
午後2時00分開会
場所：議会会議室

○小出義一委員長

ただいまから歴史・文化を活用したまちづくり調査特別委員会を開会します。
協議題1調査事項についての（1）県外視察についてを行います。視察先は、茨城県牛久市、千葉県我孫子市に決定しました。①当日の行程についてを事務局に説明させます。暫く休憩します。

休憩 午後2時01分
再開 午後2時06分

○小出義一委員長

会議を再開します。
続いて、②県外視察先の紹介・質問事項についての確認を行いたいと思います。牛久市の説明から始めます。伊藤正興副委員長に説明をお願いします。

○伊藤正興副委員長

牛久市の人口は83,980人ということで半田市と比較すると少し小さな町です。市内にJRの駅が2つあるだけということで比較的コンパクトなまちであることがわかります。東京都心からおよそ50km程度の位置にあり、牛久駅を中心とした地域は東京のベットタウンとして宅地開発が進み、人口が増加しております。

牛久市の歴史・文化に関する取組のスタート地点として、歴史文化基本構想があります。牛久市では、文化財を適切に保存活用し、次世代へ継承していくために、地域の人たちが地域に所在する文化財の価値を再認識して、官民協働で守り伝えるとともに、文化財が市民に親しまれる存在となるよう保存活用するための総合的な指針となるマスタープランとしての「歴史文化基本構想」を平成31年に策定しました。

文化財保護法が改正されてから、牛久市の文化財保存活用地域計画が、令和元年7月19日に文化庁長官の認定第1号を受けました。計画では、文化財の保存・活用を市民の「ふるさと」への誇りと愛着を深めていくことに役立て、市民一人ひとりに支えられた新たなまちづくりに繋げ、市民が主役となった活動が

継続されていくことにより、暮らし続けたいまち、豊かな心と文化を育むまち、来訪者が再び訪れたいまちを目指すものと、目標を掲げています。役割分担や連携についても記載されており、牛久市の他の計画とも紐づけられています。また、先ほどの視察行程表の説明にありましたヘルスロードについても計画に記載されています。ヘルスロードとは、市内に点在する文化財をウォーキングコースとして設定し、市民に文化財を身近に感じてもらい、知ってもらおうとする取組です。牛久市では、市民による文化財認定制度を導入して歴史・文化の保存・活用について取組んでいます。

現状については、視察時に確認を行っていかうと思います。

○小出義一委員長

牛久市への質問事項については、正副委員長案を作成しています。ご確認いただき、ご意見等ありましたら、10月3日（木）正午までに事務局へお知らせください。

続いて、我孫子市の説明をします。

計画を策定した背景として、人口減少・少子高齢化により地域固有の文化財の継承が難しくなってきたことから、地域の誇りであり、アイデンティティでもある文化財を次世代に継承すべく、文化財を保存・活用していくための具体的な計画づくりが求められていたことがあります。

我孫子市の計画の特徴として、歴史・文化についての4つのものがたりを作成し、文化財を残しまちの魅力をあげていく点や計画の協議会委員に専門家を招いている点、などが挙げられます。

我孫子市への質問事項については、牛久市と同様に期日までにご意見をいただけたらと思います。

以上で県外視察先の内容確認と質問事項についての説明は終わりますが、この件について質疑等ありましたらお願いいたします。

○田中嵩久委員

牛久市は共通した質問が主なものに対し、我孫子市は計画の中身についての質問が主になっており、質問事項に対する意見をどのような視点から出せばよいか教えてください。

○小出義一委員長

正副委員長で我孫子市と牛久市の質問事項をそれぞれで作成したため、質問事項の系統が違いますが、気にせずご意見いただければと思います。

○田中嵩久委員

牛久市と我孫子市で質問事項の系統が異なっていることが気になったため質問しました。それ以外にも気づいたことがあれば意見を出させていただきます。

○小出義一委員長

ほかにご意見ありませんか。

○関正樹博物館長

計画を策定するにあたって課題となったことを聞いていただけると参考になるのではないかと思います。

○小出義一委員長

ほかにご意見等ありませんか。

○関正樹博物館長

県外視察の随行について、本来であれば教育部長が随行しますが部長が都合により出席できない場合は私が随行しますのでご承知おきください。

○小出義一委員長

当局から説明があったとおり、教育部長が視察の随行に來れない場合は、文化財の所管課の博物館長に随行いただくことも考えられますのでご承知おきください。

○小出義一委員長

続きまして、(2) 県内視察と講師による勉強会についてを協議します。

県内視察については、南知多町、蟹江町、西尾市を候補地と考えています。

視察先の選定については、正副委員長にご一任いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

○小出義一委員長

それでは、その様に進めさせていただきます。

視察の候補日は、1月16日、17日、28日、29日、30日を予定していますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

○小出義一委員長

この候補日で調整していきます。質問事項につきましては、各委員で分担して作成していきたいと思います。進め方としましては、3つのグループに分かれ、視察先について勉強をし、質問事項を作ってください。このことについて、ご意見ありましたらお願いします。

○山田清一委員

質問項目については、グループで協議し決定することは良いですが、視察先の勉強をグループで行う必要性はないように感じますが、どうですか。

○小出義一委員長

文化財保存活用地域計画は、文化庁の様式はありますが地域によって実情は異なるため、勉強を行っていただければと思います。視察先につきましてもできるだけ早く決定しますので、勉強資料・質問事項を作成していただければと思います。

○小出義一委員長

次に、講師による勉強会については、2回行うことを考えています。1回目は、講師に日本福祉大学経済学部教授曲田浩和氏を考えております。講師の曲田先生について博物館より説明ください。

○関正樹博物館長

曲田浩和先生は半田市文化財専門委員会の委員長を務めており、南知多町の文化財保存活用地域計画の協議会委員にも選出されておりましたので勉強会の講師としてご提案いたしました。勉強会の目的によって話していただける内容も変わってきますので委員会の中で協議していただければと思います。

○小出義一委員長

曲田先生には半田市の歴史の背景についてを勉強会で講演していただきたいと思っておりますが、ご意見お聞かせください。

○芳金秀展委員

当委員会と勉強会の内容とどのような関係がありますか。当委員会では、文化財保存活用地域計画をどのようにまちづくりへ活かしていくのかを調査しています。半田市の歴史や文化がどのように発展してきたのかを勉強することは大切だと思いますが、その部分に焦点を当てていくと当委員会の目的からズレていってしまうと思います。当委員会の目的は、県外視察・県内視察で調査する文

化財保存活用地域計画が主な調査対象のため、計画に焦点を当てないといけないのではないのでしょうか。

○小出義一委員長

半田市にどのような歴史があるのかを掘り下げていくことは当委員会の目的ではありませんが、勉強会では半田市の歴史の背景についてを話していただきたいと思っています。

○田中嵩久委員

講師は、南知多町の計画に関わられていた方だと思いますのでその時のお話を聞くのは分かりますが、半田の歴史についてというテーマになりますと、もっと知らなければならないことがたくさんあると思います。

○山田清一委員

この委員会の設置目的は「歴史・文化の保存計画から活用方法の検討について」ということなので、南知多町の計画策定時のことについて話を聞ければと思います。当委員会の設置目的そのままを投げただけたらと思います。

○小出義一委員長

当委員会の設置目的に沿った勉強会の内容で講師に依頼していきます。

2回目の勉強会では、半田市内で実際に歴史・文化の継承活動を行っている亀崎郷土文化協議会「海と蔵の会」を招いて、実際の活用事例について学びたいと思いますが、副委員長から補足等ありましたらお願いします。

○伊藤正興副委員長

「海と蔵の会」につきましては、歴史・文化を活用したまちづくりを民間主導で行っている団体です。亀崎地区の埋もれている歴史を掘り起こして活用してまちづくりを行っていく活動をしています。また、小中学校と連携しており、地域の核となる団体です。

○小出義一委員長

博物館の中だけで計画を策定していくだけではなく、視野を広げながら策定していく必要があると思いましたので、活用事例の一つとして勉強会の講師に「海と蔵の会」をお招きできたらと思います。このことについて、ご意見ありましたらお願いいたします。

○山田清一委員

設置目的の観点から、たくさん情報が入ってしまうと混乱してしまうのではないのでしょうか。5月臨時会で報告を行うことを考えたら、県外・県内視察について報告をまとめてから実際の活用事例を見ていくのはどうでしょうか。

○小出義一委員長

暫く休憩します。

休憩 午後3時30分

再開 午後3時35分

○小出義一委員長

会議を再開します。

ご意見ありましたとおり、「海と蔵の会」を招いた勉強会は行わないこととしてよろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

○小出義一委員長

協議した内容をまとめます。県内視察については、南知多町、蟹江町、西尾市に依頼をしていきます。勉強会の講師は、当委員会の設置目的に沿った内容で日本福祉大学の曲田浩和先生に依頼を行います。この勉強会は、政務活動費を活用して実施し、講師謝礼を出したいと思っておりますがよろしかったでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

○小出義一委員長

ないようですので、勉強会については政務活動費を活用しますのでご承知おきください。

○小出義一委員長

次に（3）次回の委員会開催日についてを行います。暫く休憩します。

休憩 午後3時40分

再開 午後3時42分

○小出義一委員長

次の委員会は、12月17日（火）午後1時30分から行いますのでご予定く

ださい。なお、建設産業委員会の議案審査が午前中に終了しない場合は、建設産業委員会終了後に開催しますのでご承知おきください。

この件について、ご意見等がありますか。

【「なし」との声あり】

○小出義一委員長

ないようでしたら、この件については終わります。

その他、何かある方はいますか。

【「なし」との声あり】

○小出義一委員長

以上で歴史・文化を活用したまちづくり調査特別委員会を閉会します。

午後3時44分 閉会